

# YAMAHA

## NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

# NS-C105

## 取扱説明書

このたびはヤマハスピーカーシステムNS-C105をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

NS-C105の優れた性能を十分に発揮させると共に、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになった後は、必要に応じていつでも取り出せるように、保証書と共に大切に保管してください。

本取扱説明書には、安全にお使いいただくために、関連機器(アンプ)を含めた取扱上のご注意等も一部記載されております。



### 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

ご使用前に必ずお読みください。

## 目次

安全上のご注意 .....	2
設置について .....	3
アンプとの接続 .....	4
サラネット .....	5
お手入れ .....	5
参考仕様 .....	5
ヤマハホットラインサービスネットワーク .....	6

# 安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。●の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

 <h2>警告</h2> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	
 水場での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</li> <li>●本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一キャビネット内部に水や異物が入った場合は、まずアンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> <li>●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ずアンプの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、アンプの電源スイッチを切り、アンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>

 <h2>注意</h2> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。</li> <li>●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。</li> <li>●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接続する際は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、アンプの電源を切り、説明に従って接続してください。</li> <li>●本機をレコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置すると、ハウリング(音の悪循環)を起こすことがあります。その場合は、本機をレコードプレーヤーから離して設置してください。</li> <li>●サラネット内側のスピーカーを押しついたり、ショックを与えないようご注意ください。変形などしますと、音が歪んだり故障の原因になります。</li> <li>●アンプの電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</li> <li>●本機は防磁型となっていますが、スピーカーには強力なマグネットが使われていますので、時計・磁気テープ・磁気カードなどは近くに置かないでください。また、万一テレビの近くでご使用になり色ムラが生じた時は、テレビと本機の距離を離してご使用ください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、接続コードを外してから行ってください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</li> </ul>

# 設置について

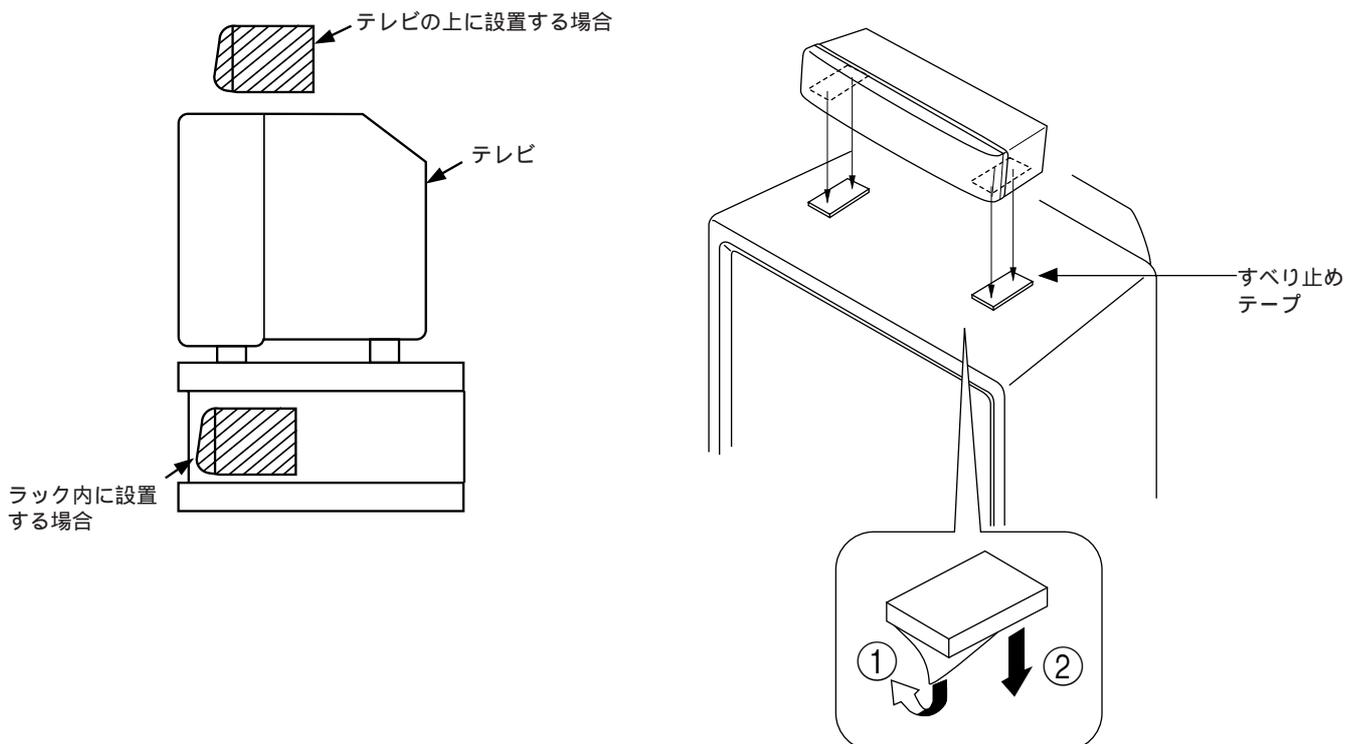
## 設置上のご注意

### 警告

	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機の重量は5.0kgあります。付属のすべり止めテープを使用せずにそのままテレビの上に置かないでください。本機が落下すると、けがや本機の破損の原因となります。</li><li>● テレビや本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。テレビが倒れたり、テレビの上に設置した本機が落下すると大けがをする原因になります。</li><li>● 本機をテレビの上に置いたときに、本機がテレビよりはみ出してしまう場合は、テレビの上には設置しないでください。本機が落下すると、大けがや本機の破損の原因となります。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>● スピーカーコードは必ず固定してください。コードを足や手に引っかけて本機が落下しますと、けがや本機の破損の原因になります。</li></ul>
			<ul style="list-style-type: none"><li>● 取り付け後は、必ず安全性を確認してください。またその後、定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。</li></ul>

### テレビの上または下に設置する場合

テレビの上に設置する場合は、必ず付属のすべり止めテープ(2個)を図のように本機の底面とテレビの上面に貼り、本機を固定してください。



# アンプとの接続

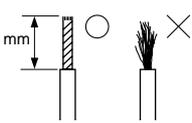
- 接続する前に、必ずアンプの電源コードをACコンセントからはずしてください。

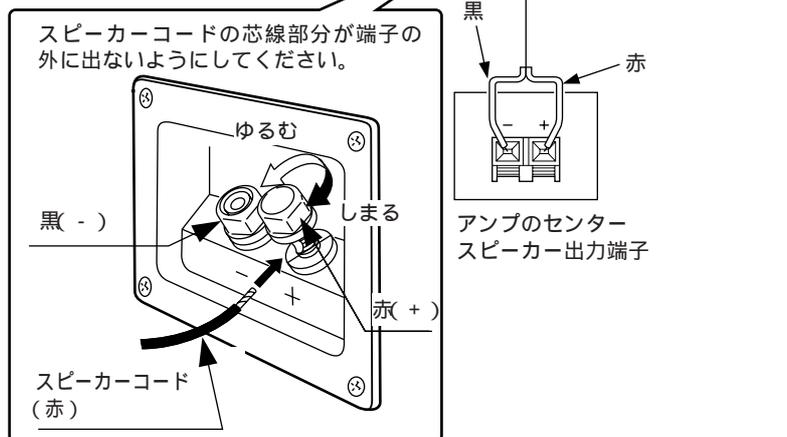
## 接続のしかた

- アンプのセンタースピーカー出力端子と本機背面の入力端子を、付属のスピーカーコードで接続します。
- 付属のスピーカーコードには、赤と黒のコードがあります。赤い方をアンプと本機の赤端子(+側)間に、黒い方を黒端子(-側)間に接続してください。極性(+、-)を間違えると不自然な音になります。ご注意ください。

ご使用になるアンプによって端子名が異なることがあります。アンプの取扱説明書も併せてご覧ください。

### 接続の手順

- 1 スピーカーコード先端の絶縁部を10mm位はがし、芯線がバラけないように手でしっかりとよりを掛けます。
- 2 スピーカー端子のつまみを左に回してゆるめます。
- 3 スピーカーコードの芯線部分を端子の穴に差し込みます。
- 4 つまみを右に回してしめます。
- 5 確実にスピーカーコードが接続されたか、コードを軽く引っ張って抜けないことを確認します。

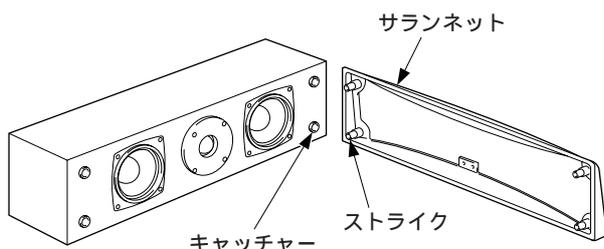


## 注意

- スピーカーの許容入力以上の出力を持つアンプを使用される場合は、スピーカー保護のため、最大入力以上の出力を加えないよう、ご注意ください。
- アンプのトーンコントロール(BASS・TREBLE等)やイコライザーを最大にして大出力でご使用になったり、特殊な信号(テープの早送り時の音、プレーヤーの針先のショック音、信号発生器の特定の周波数、サイン波などの再生音)や歪んだ音を連続して加えることは、スピーカーの破損の原因となりますので、絶対におこなわないでください。

# サラネット

サラネットははめ込み式で取り付けられています。取りはずす場合は、サラネットの4隅を手前に引くとはずれます。取り付けは、サラネット裏側ストライク(突起)と本体側キャッチャー(ストライク受け部)を合わせて押し込みます。(サラネットの布部分は押さえないでください。)



## ご注意

スピーカーの振動板には手を触れたり、ショックを与えないでください。音が歪む原因となります。

# 参考仕様

形式	2ウェイ密封型 防磁型 (EIAJ)
スピーカーユニット	
ウーファ	10 cmコーン型 (JA1076)×2
ツイータ	2.5 cmドーム型 (JA05S5)
再生周波数帯域	65 Hz~20 kHz (-10dB)
最低共振周波数	150Hz
インピーダンス	6 Ω
許容入力	50 W
最大入力	200 W
出力音圧レベル	90 dB/W・m
クロスオーバー周波数	
ツイータ (ローカット)	6 kHz, 6 dB/oct.
外形寸法 (W×H×D)	540×135×180mm
重量	5.0 kg
付属品	スピーカーコード (4m)×1 すべり止めテープ×2

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。  
上記の最大入力値以上の信号を加えないよう充分ご注意ください。



## 音楽を楽しむエチケット

これは日本電子機械工業会  
「音のエチケット」キャンペーン  
のシンボルマークです。

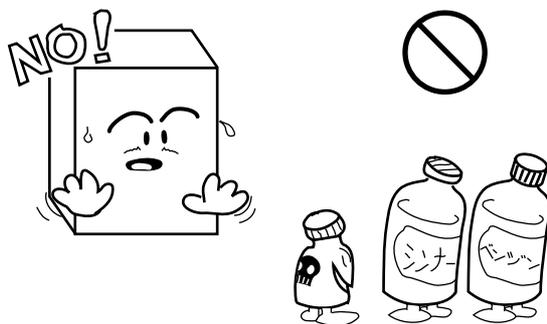
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

## お手入れについて

お手入れは、アンプの電源を切ってからおこなってください。

ふつうの汚れは軟らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた洗剤を布にふくませ、よくしぼって拭き取ってください。そのあと乾いた布で仕上げてください。

ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると、変質したり塗料が剥げることがありますので、使用しないでください。また、接点復活剤はご使用にならないでください。



# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- 保証期間  
お買上げ日より1年間です。
- 保証期間中の修理  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているとき  
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- 修理料金の仕組み  
技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。  
部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。  
出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 補修用性能部品の最低保有期間  
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 持ち込み修理のお願い  
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- 製品の状態は詳しく  
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。  
品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。
- 摩耗部品の交換について  
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。  
本機を末長く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。  
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

#### お客様ご相談センター

(ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口)

TEL (03)5488 - 5500

#### ヤマハ株式会社

〒430浜松市中沢町10-1

#### AV機器事業部

営業部

TEL(053)460 - 3451

品質保証室

TEL(053)460 - 3405

# YAMAHA

住所および電話番号は変更になることがあります。

#### ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7  
仙台卸商共同配送センター3F  
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184  
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)  
〒108 東京都港区高輪2-17-11  
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内  
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F  
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16  
ヤマハ(株)千里丘センター内  
TEL (06) 877 - 5262
- 広島 〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14  
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック高松店内  
TEL (0878) 22 - 3045
- 九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472 - 2134

## 愛情点検



長年ご使用の機器の点検を！

#### こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

本ページにはAV製品全般についての内容が記載されています。